



岐阜市未来のまちづくり財団の  
ホームページで調査結果を公開しています。

岐阜市未来のまちづくり財団

検索

<https://www.gifu-mirai.org/>

# 柳ヶ瀬エリアにおける 岐阜高島屋閉店の影響調査

## 調査結果の概要

令和6年8月

一般財団法人岐阜市未来のまちづくり財団

# I. 調査の概要

## 1 目的

柳ヶ瀬エリアの店舗が、岐阜高島屋の閉店の影響をどのように捉えているかを調査分析し、今後のまちづくりの基礎資料とする。

## 2 調査エリア・調査対象店舗

「柳ヶ瀬エリア」のうち、**昼間に営業している店舗**

- 金華橋通(両側)・長良橋通(両側)・徹明通(両側)・若宮通に囲まれたエリア
  - 美殿町商店街
  - スタープレイス柳ヶ瀬
- ※ 岐阜高島屋(平和ビル)内の店舗は、調査対象外。

## 3 調査の内容

- ① 「商店街に立ち寄る客層や客数の変化」に関して、想定される影響度
  - ② 「高島屋の駐車料金サービスがなくなること」に関して、想定される影響度
  - ③ 高島屋の閉店を受けて、検討している対策
  - ④ 現在の自店の課題や心配事(高島屋閉店以外の経営課題を含めて)
- ★ 店舗の基本情報(業種、経営者の年齢、経営年数、経営形態、店舗の所在地)

## 4 調査期間 令和6年6月11日(火)～7月8日(月)

# I. 調査の概要

## 5 調査方法

- ①調査エリアの店舗のうち、調査期間中の昼間（概ね10:00～17:30）に、目視調査で営業が確認できた店舗に対して、職員が直接訪問して調査への協力を依頼し、調査票を配布。
- ②数日後に、職員が各店舗に訪問して、調査票（無記名）を回収。

## 6 調査対象店舗数・回収数・回収率

調査対象店舗数：**282店**（目視調査で昼間に営業を確認し、協力依頼を試みた店舗数）

調査票を回収できた店：**272店**（回収率：**96.5%**）

 **柳ヶ瀬エリア・昼間営業店舗の全数調査、かつほぼ全店舗が回答**

# Ⅱ. 調査店舗の概要（店舗の所在地）

## ① 商店街の単組を参考に

### コード化を行った。(24分類)

※ただし「組合への加入/非加入を問わず調査を行ったこと」「単組の境界の店舗の取り扱い」等の理由から、商店街組合のエリア・組合員数とは一致しない。

※小柳町、弥生町、スタープレイス（西柳ヶ瀬）については、昼間に営業している店舗が少ないため、対象店舗（回収）数が少ない。

## ② 分析を行うため、サンプル数が少ないエリアを統合。

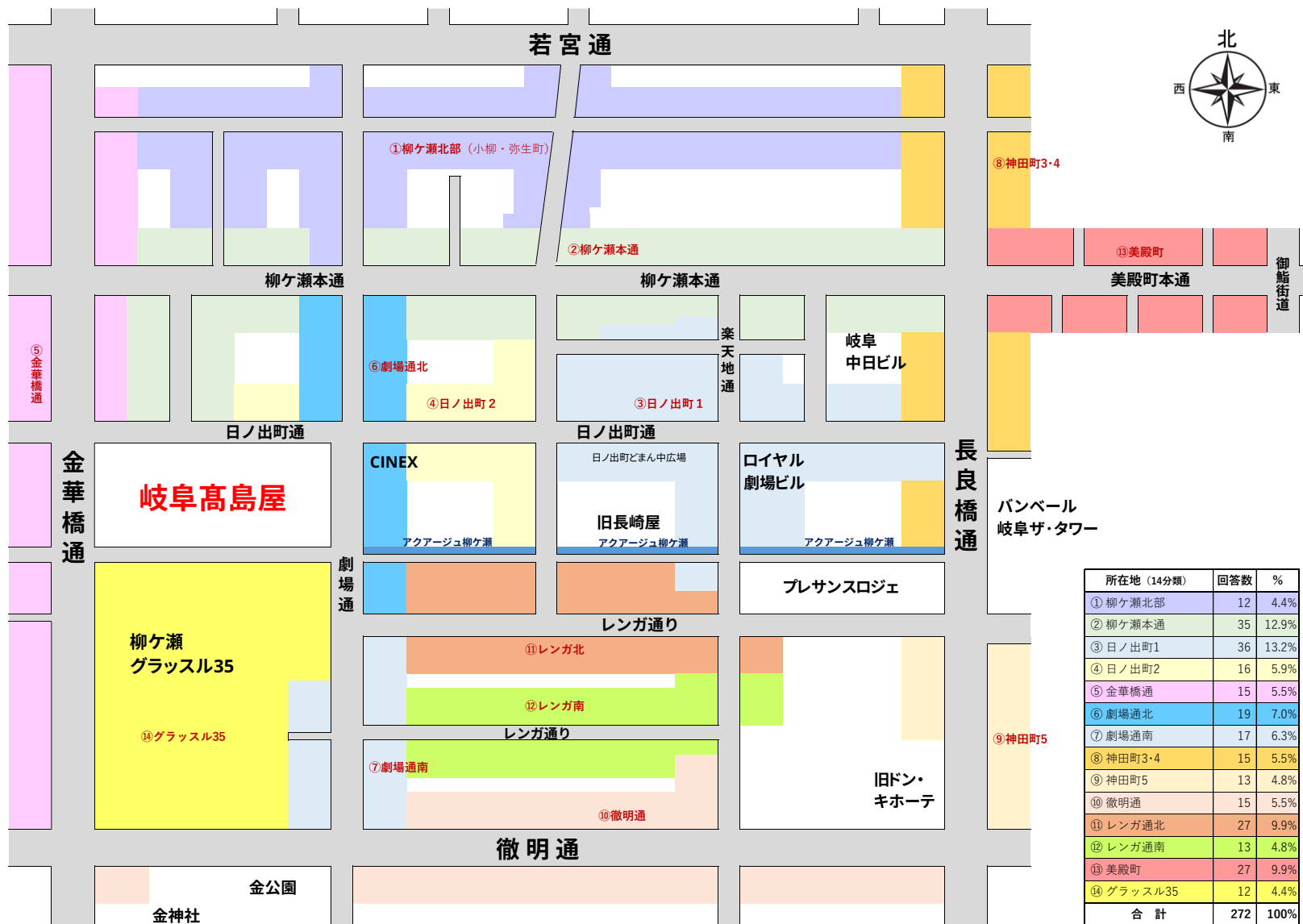
(24分類→14分類)

※分析内容によっては、店舗が特定されるため。

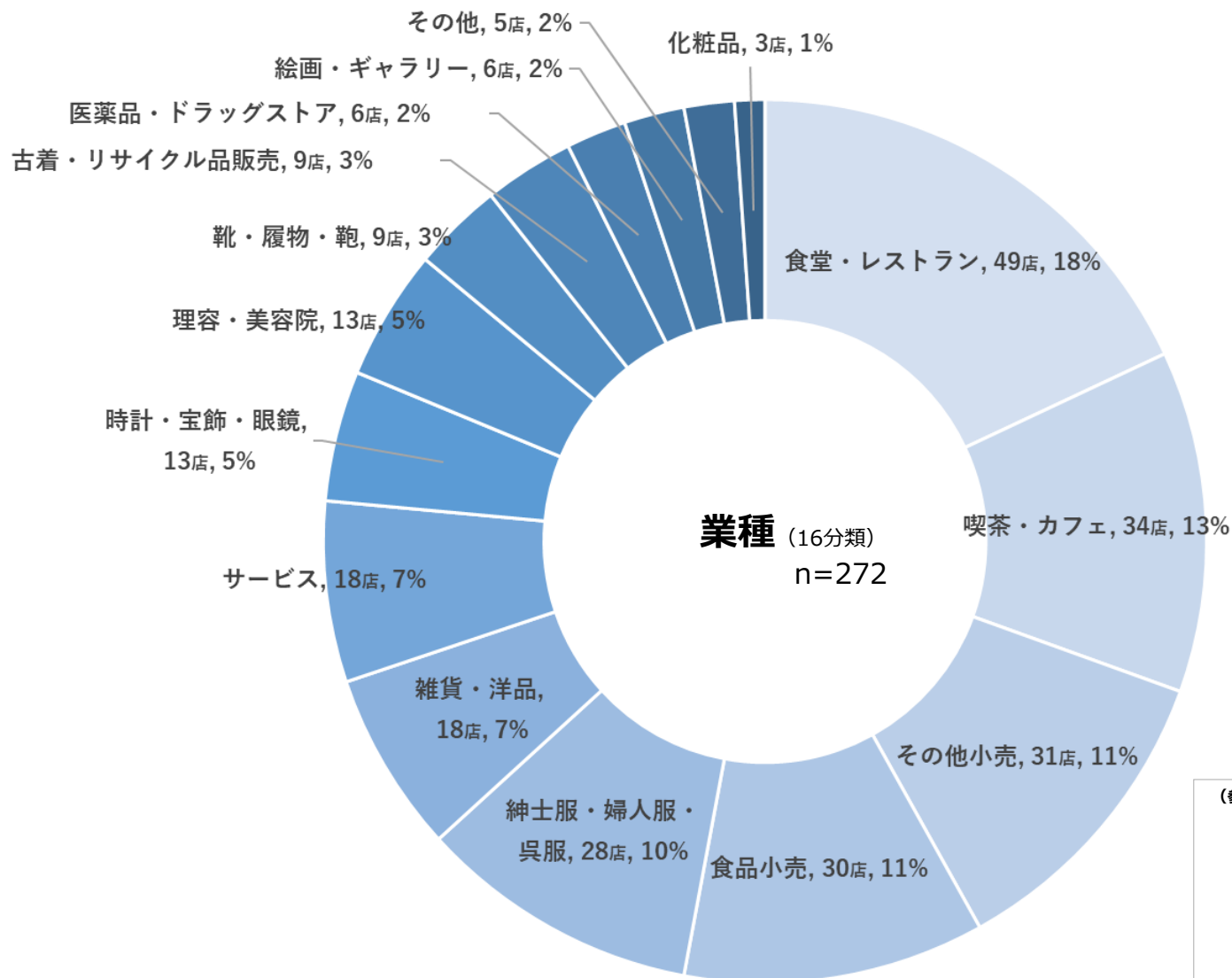
※住所（位置）を勘案して統合した。統合したエリアは、商店街活動のエリアや、連合会等の加盟エリアとは一致しない。

旧No.	所在地 (24分類)	件数	%	新No.	所在地 (14分類)	件数	%
1	小柳町	4	1.5%	①	柳ヶ瀬北部 (小柳町+弥生町)	12	4.4%
2	弥生町	8	2.9%				
3	柳ヶ瀬通 1	20	7.4%	②	柳ヶ瀬本通 (柳ヶ瀬通1~3丁目)	35	12.9%
4	柳ヶ瀬通 2	7	2.6%				
5	柳ヶ瀬通 3	8	2.9%				
7	日ノ出町 1	30	11.0%	③	日ノ出町1 (日ノ出町1+楽天地)	36	13.2%
6	楽天地	6	2.2%				
8	日ノ出町 2 東	12	4.4%	④	日ノ出町2 (組合無しエリアを含む)	16	5.9%
22	日ノ出町 2 西	4	1.5%				
19	金町 2	6	2.2%	⑤	金華橋通 (金町2~4+SP)	15	5.5%
11	金町 3・4	7	2.6%				
9	スタープレイス	2	0.7%				
10	劇場通北	19	7.0%	⑥	劇場通北	19	7.0%
16	劇場通南	17	6.3%	⑦	劇場通南	17	6.3%
12	神田町 3	12	4.4%	⑧	神田町3・4 (神田町3+4丁目)	15	5.5%
13	神田町 4	3	1.1%				
14	神田町 5	13	4.8%	⑨	神田町 5	13	4.8%
15	徹明通	15	5.5%	⑩	徹明通	15	5.5%
17	レンガ通北	27	9.9%	⑪	レンガ通北	27	9.9%
18	レンガ通南	13	4.8%	⑫	レンガ通南	13	4.8%
20	美殿町	27	9.9%	⑬	美殿町	27	9.9%
21	グラスル35	12	4.4%	⑭	グラスル35	12	4.4%
23	若宮通	0	0.0%				
24	その他	0	0.0%				
	【合計】	272	100.0%		【合計】	272	100.0%

# Ⅱ. 調査店舗の概要 (店舗の所在地)



## Ⅱ. 調査店舗の概要（店舗の業種）



(参考) 想定している業種の例

食品小売：

八百屋、精肉、魚、菓子、珈琲豆、茶、果物、乾物、パン、コンビニ、スーパーなど

その他小売：

家具、寝具、楽器、カメラ、花、文具、画材、タバコ、本、自転車、医療機器など

サービス：

映画館、教室、ジム、エステ、ネイル、占い、写真スタジオ、イベント、報道など

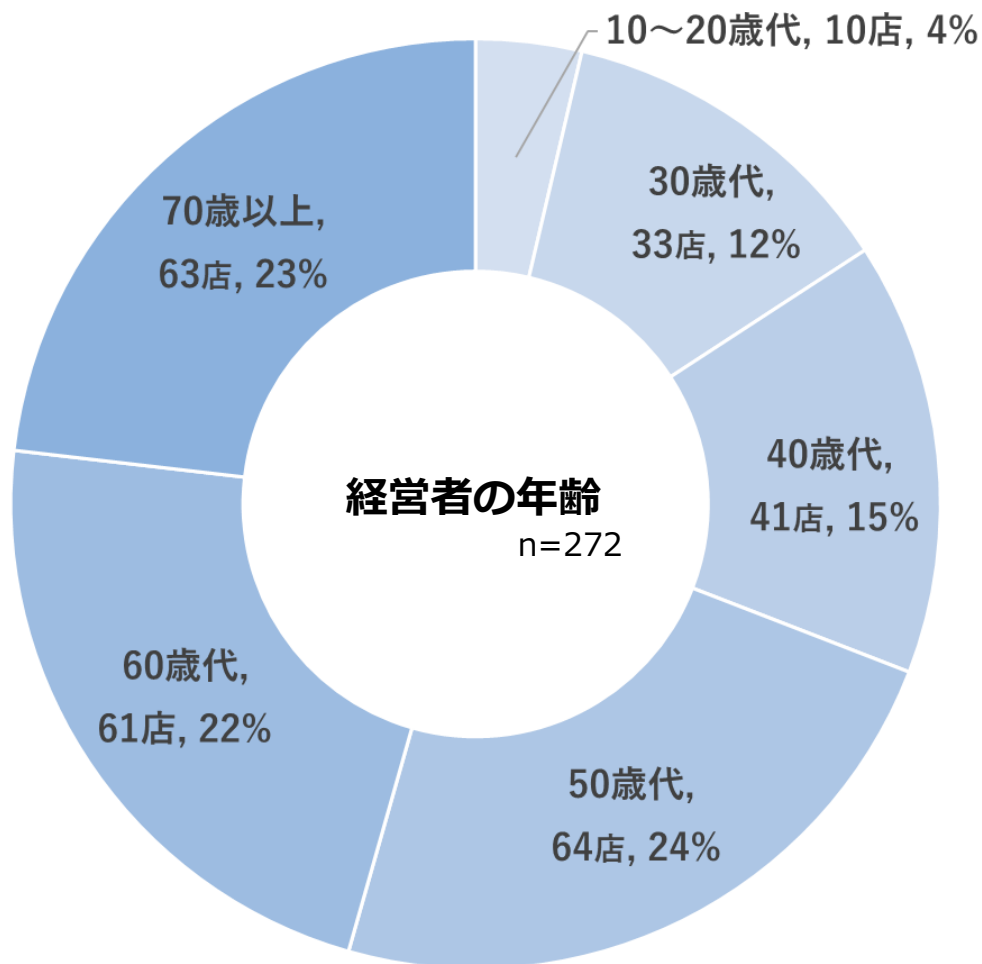
## Ⅱ. 調査店舗の概要（店舗の業種）

旧No.	業種（16分類）	件数	%	新No.	業種（12分類）	件数	%
1	喫茶・カフェ	34	12.5%	①	喫茶・カフェ	34	12.5%
2	食堂・レストラン	49	18.0%	②	食堂・レストラン	49	18.0%
3	食品小売	30	11.0%	③	食品小売	30	11.0%
4	紳士服・婦人服・呉服	28	10.3%	④	紳士服・婦人服・呉服	28	10.3%
5	雑貨・洋品	18	6.6%	⑤	雑貨・洋品	18	6.6%
6	靴・履物・鞆	9	3.3%	⑥	靴・履物・鞆	9	3.3%
7	時計・宝飾・眼鏡	13	4.8%	⑦	時計・宝飾・眼鏡	13	4.8%
8	医薬品・ドラッグストア	6	2.2%	⑧	医薬品・ドラッグストア+化粧品	9	3.3%
9	化粧品	3	1.1%				
10	古着・リサイクル品販売	9	3.3%	⑨	古着・リサイクル品販売	9	3.3%
11	その他小売	31	11.4%	⑩	その他小売	31	11.4%
12	理容・美容院	13	4.8%	⑪	理容・美容院	13	4.8%
13	絵画・ギャラリー	6	2.2%	⑫	サービス (+絵画・ギャラリー、その他)	29	10.7%
14	サービス	18	6.6%				
16	その他	5	1.8%				
15	不動産・駐車場	0	0.0%				
	<b>【合計】</b>	<b>272</b>	<b>100.0%</b>		<b>【合計】</b>	<b>272</b>	<b>100.0%</b>

### <業種の再分類>

分析を行うにあたり、サンプル数が少ない業種については、表のとおり16分類→12分類に統合した。

# Ⅱ. 調査店舗の概要 (経営者の年齢)

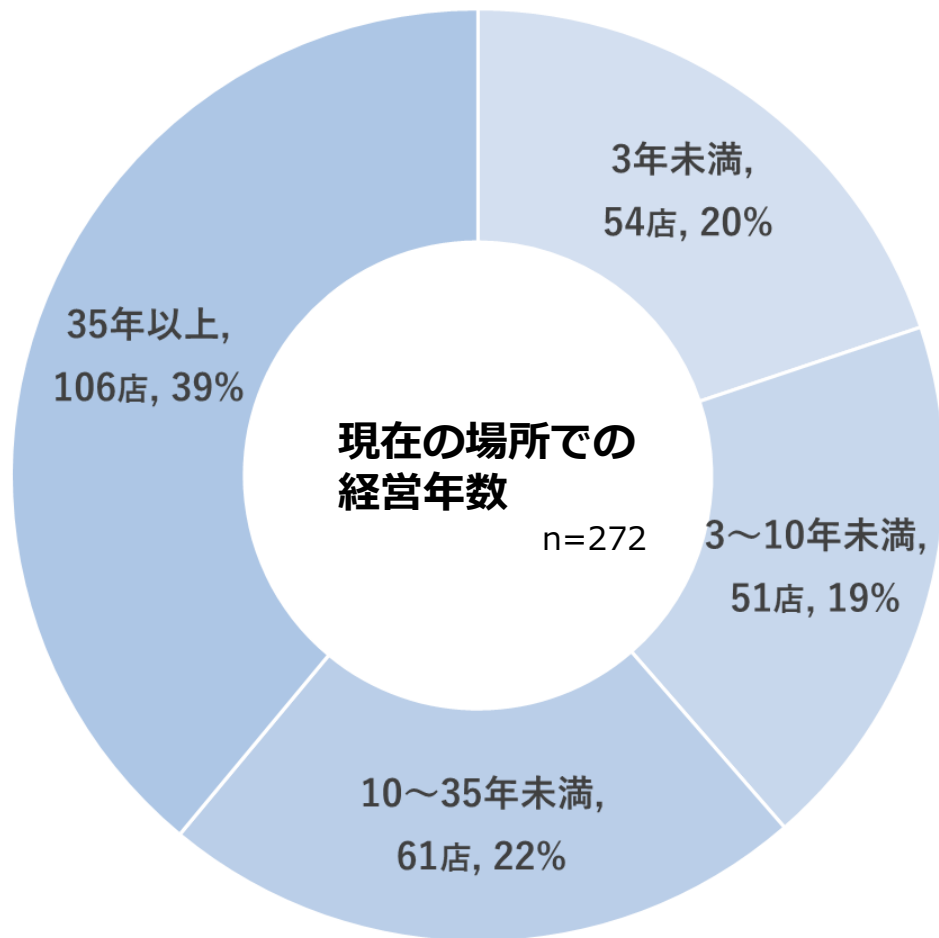


		1	2	3	4	5	6	合計
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
①	柳ヶ瀬北部	0 0.0%	1 8.3%	4 33.3%	1 8.3%	1 8.3%	5 41.7%	12 100%
②	柳ヶ瀬本通	2 5.7%	4 11.4%	2 5.7%	10 28.6%	9 25.7%	8 22.9%	35 100%
③	日ノ出町1	0 0.0%	4 11.1%	10 27.8%	9 25.0%	9 25.0%	4 11.1%	36 100%
④	日ノ出町2	1 6.3%	2 12.5%	2 12.5%	5 31.3%	3 18.8%	3 18.8%	16 100%
⑤	金華橋通	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	7 46.7%	1 6.7%	6 40.0%	15 100%
⑥	劇場通北	2 10.5%	3 15.8%	1 5.3%	5 26.3%	3 15.8%	5 26.3%	19 100%
⑦	劇場通南	0 0.0%	1 5.9%	3 17.6%	4 23.5%	4 23.5%	5 29.4%	17 100%
⑧	神田町3・4	0 0.0%	3 20.0%	3 20.0%	3 20.0%	1 6.7%	5 33.3%	15 100%
⑨	神田町5	2 15.4%	1 7.7%	3 23.1%	1 7.7%	3 23.1%	3 23.1%	13 100%
⑩	徹明通	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	3 20.0%	6 40.0%	5 33.3%	15 100%
⑪	レンガ通北	0 0.0%	7 25.9%	1 3.7%	3 11.1%	7 25.9%	9 33.3%	27 100%
⑫	レンガ通南	1 7.7%	1 7.7%	1 7.7%	4 30.8%	4 30.8%	2 15.4%	13 100%
⑬	美殿町	2 7.4%	3 11.1%	6 22.2%	8 29.6%	6 22.2%	2 7.4%	27 100%
⑭	グラスル35	0 0.0%	2 16.7%	4 33.3%	1 8.3%	4 33.3%	1 8.3%	12 100%
	合計	10 3.7%	33 12.1%	41 15.1%	64 23.5%	61 22.4%	63 23.2%	272 100%

所在地 × 経営者の年齢



# Ⅱ. 調査店舗の概要（現在の場所での経営年数）

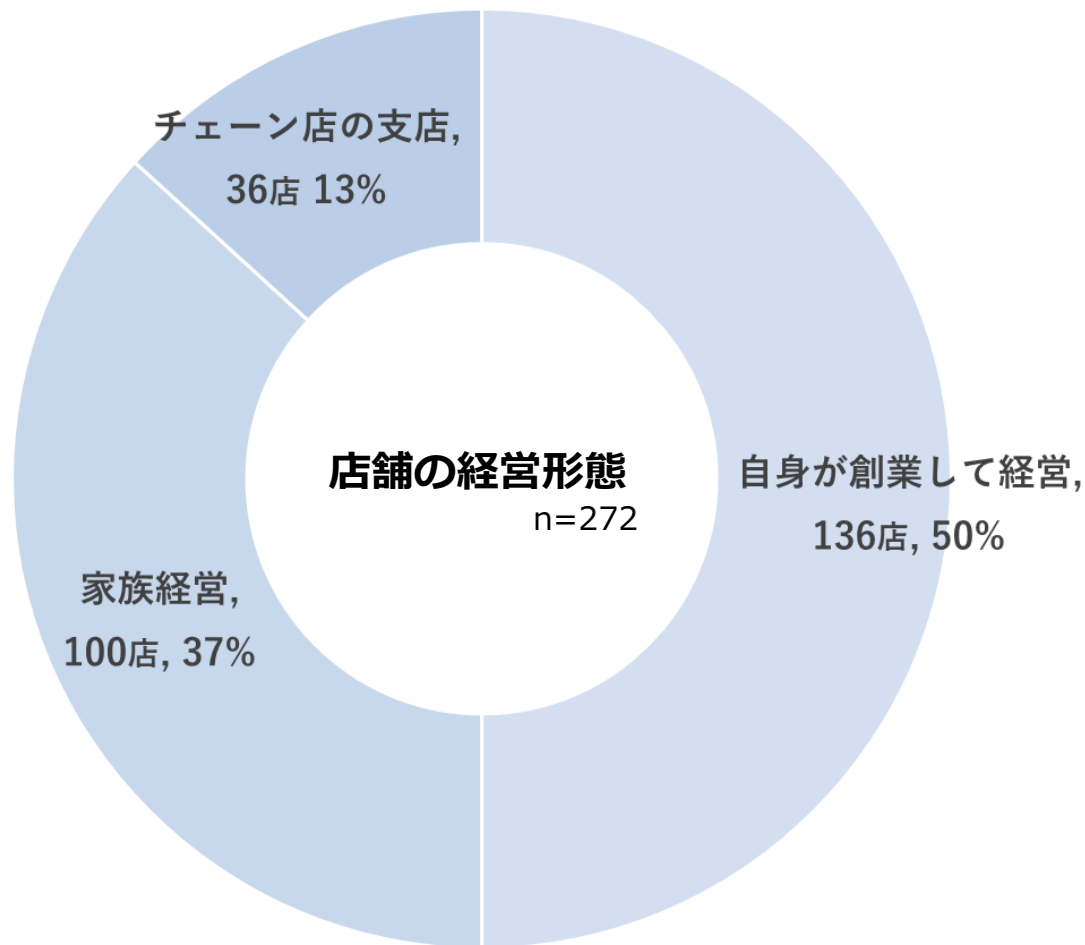


	1 3 年 未 満	2 3 年 未 満	3 3 年 未 満	4 3 5 年 以 上	合計
① 柳ヶ瀬北部	1 8.3%	1 8.3%	5 41.7%	5 41.7%	12 100%
② 柳ヶ瀬本通	7 20.0%	3 8.6%	12 34.3%	13 37.1%	35 100%
③ 日ノ出町1	7 19.4%	11 30.6%	5 13.9%	13 36.1%	36 100%
④ 日ノ出町2	2 12.5%	5 31.3%	1 6.3%	8 50.0%	16 100%
⑤ 金華橋通	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	12 80.0%	15 100%
⑥ 劇場通北	4 21.1%	5 26.3%	2 10.5%	8 42.1%	19 100%
⑦ 劇場通南	3 17.6%	1 5.9%	7 41.2%	6 35.3%	17 100%
⑧ 神田町3・4	1 6.7%	5 33.3%	4 26.7%	5 33.3%	15 100%
⑨ 神田町5	3 23.1%	2 15.4%	3 23.1%	5 38.5%	13 100%
⑩ 徹明通	1 6.7%	3 20.0%	6 40.0%	5 33.3%	15 100%
⑪ レンガ通北	8 29.6%	5 18.5%	5 18.5%	9 33.3%	27 100%
⑫ レンガ通南	2 15.4%	2 15.4%	5 38.5%	4 30.8%	13 100%
⑬ 美殿町	4 14.8%	6 22.2%	6 22.2%	11 40.7%	27 100%
⑭ グラッスル35	10 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	12 100%
合計	54 19.9%	51 18.8%	61 22.4%	106 39.0%	272 100%

所在地 × 経営年数



# Ⅱ. 調査店舗の概要 (店舗の経営形態)



		1 て 自 身 が 創 業 し	2 家 族 経 営	3 支 店 チ ェ ー ン 店 の	合計
①	柳ヶ瀬北部	7 58.3%	5 41.7%	0 0.0%	12 100%
②	柳ヶ瀬本通	14 40.0%	12 34.3%	9 25.7%	35 100%
③	日ノ出町1	21 58.3%	12 33.3%	3 8.3%	36 100%
④	日ノ出町2	6 37.5%	8 50.0%	2 12.5%	16 100%
⑤	金華橋通	4 26.7%	10 66.7%	1 6.7%	15 100%
⑥	劇場通北	6 31.6%	7 36.8%	6 31.6%	19 100%
⑦	劇場通南	8 47.1%	8 47.1%	1 5.9%	17 100%
⑧	神田町3・4	7 46.7%	5 33.3%	3 20.0%	15 100%
⑨	神田町5	5 38.5%	4 30.8%	4 30.8%	13 100%
⑩	徹明通	10 66.7%	4 26.7%	1 6.7%	15 100%
⑪	レンガ通北	19 70.4%	8 29.6%	0 0.0%	27 100%
⑫	レンガ通南	8 61.5%	4 30.8%	1 7.7%	13 100%
⑬	美殿町	16 59.3%	11 40.7%	0 0.0%	27 100%
⑭	グラスル35	5 41.7%	2 16.7%	5 41.7%	12 100%
	合計	136 50.0%	100 36.8%	36 13.2%	272 100%

所在地 × 経営形態



# Ⅲ. 客層や客数が変化することの影響度

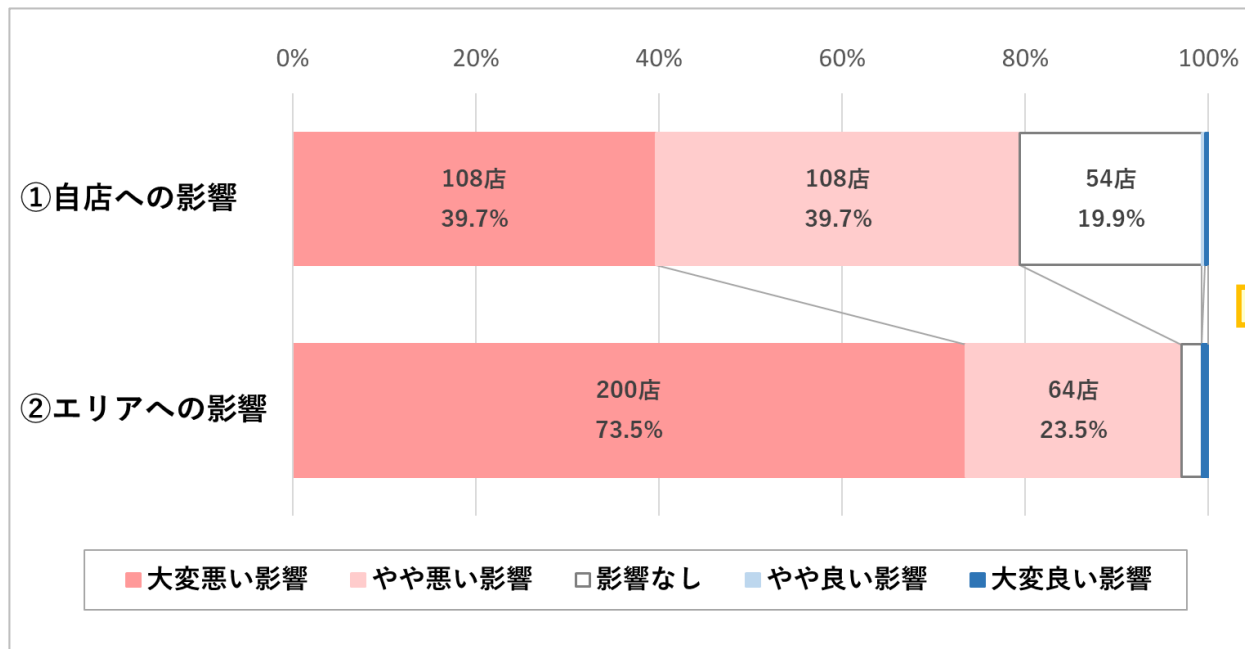
## 1 自店への影響度

➡ 約8割の店舗が「悪い影響」、一方「影響なし」も2割

## 2 柳ヶ瀬エリアへの影響度

➡ ほぼ全ての店舗が「悪い影響」（大変悪い+やや悪い）

高島屋閉店に伴う「客層や客数が変化すること」の影響度 (n=272)



➡ 自店舗への影響よりも、柳ヶ瀬エリアへの影響が深刻と予想

# Ⅲ. 客層や客数が変化することの影響度

## ＜影響度の得点化＞

本調査では、各カテゴリの影響度を分析・比較するための1つの手法として、次の方法で「得点化」を行った。

$$\begin{aligned} \text{得点}a = & \quad ( \text{「1.大変悪い」の回答数} \times 1\text{点} \\ & + \text{「2.やや悪い」の回答数} \times 2\text{点} \\ & + \text{「3.影響なし」の回答数} \times 3\text{点} \\ & + \text{「4.やや良い」の回答数} \times 4\text{点} \\ & + \text{「5.大変良い」の回答数} \times 5\text{点} ) \quad / \quad n \end{aligned}$$

例えば、

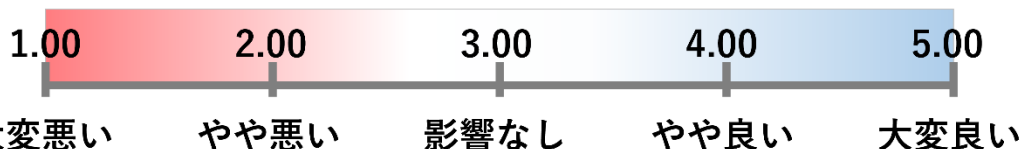
### 「問1 ①客層や客数が変化することの自店への影響度」の全体の得点

$$(108\text{店} \times 1\text{点} + 108\text{店} \times 2\text{点} + 54\text{店} \times 3\text{点} + 1\text{店} \times 4\text{点} + 1\text{店} \times 5\text{点}) / 272\text{店} = 1.82$$

### 「問1 ②客層や客数が変化することの柳ヶ瀬エリアへの影響度」の全体の得点

$$(200\text{店} \times 1\text{点} + 64\text{店} \times 2\text{点} + 6\text{店} \times 3\text{点} + 0\text{店} \times 4\text{点} + 2\text{店} \times 5\text{点}) / 272\text{店} = 1.31$$

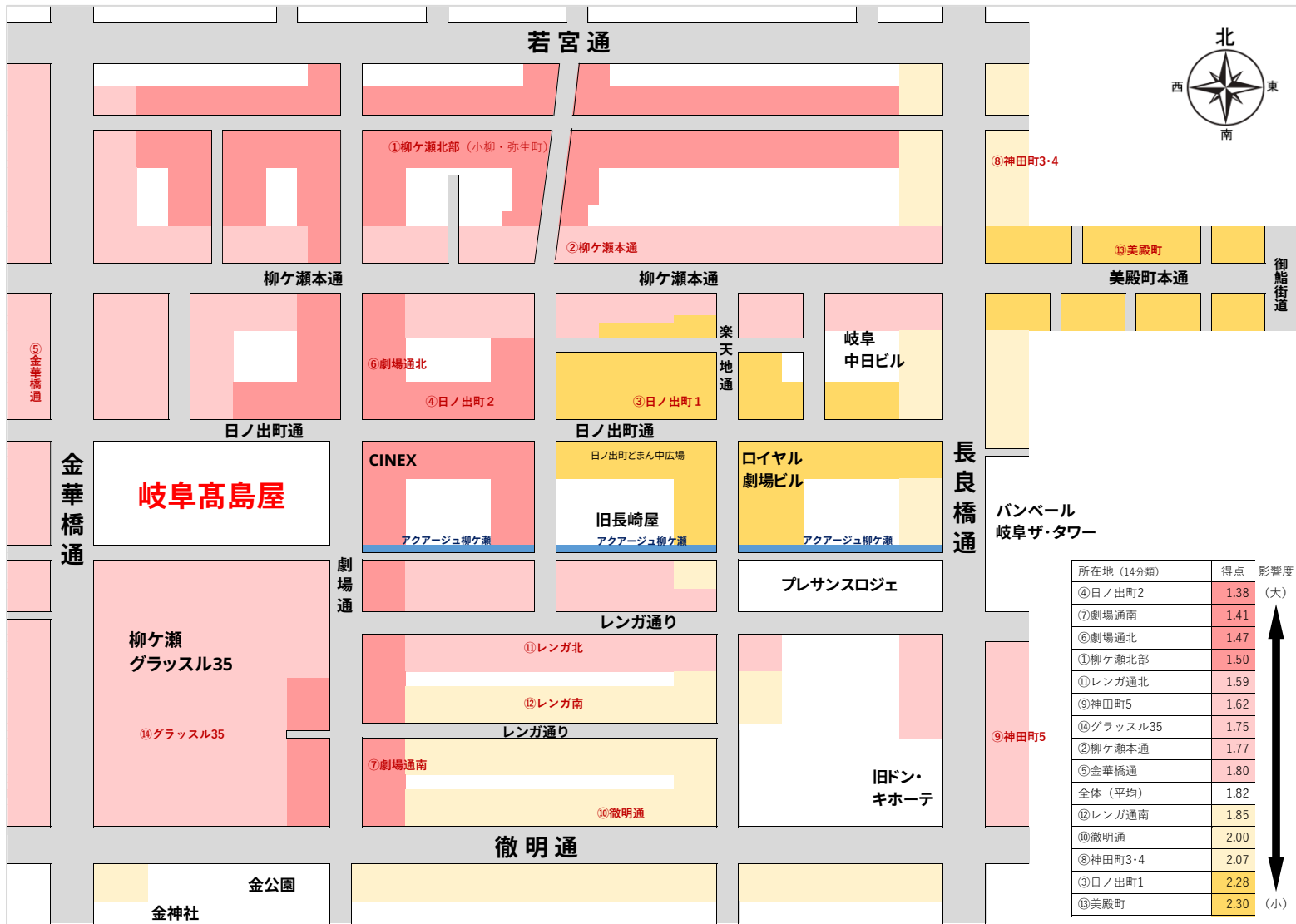
● 柳ヶ瀬エリアへの影響度 1.31  
● 自店への影響度 1.82



「自店への影響度：1.82」「柳ヶ瀬エリアへの影響度：1.31」とも、1.00（大変悪い影響）と2.00（やや悪い影響）の間であることから、相当深刻であると捉えていることがわかる。

# Ⅲ. 客層や客数が変化することの影響度

## 問1 ①客層や客数が変化することの自店への影響度（所在地別）



# Ⅲ. 客層や客数が変化することの影響度



どのような属性の店舗が、より深刻に捉えているか、相対的に楽観視しているか、を分析。

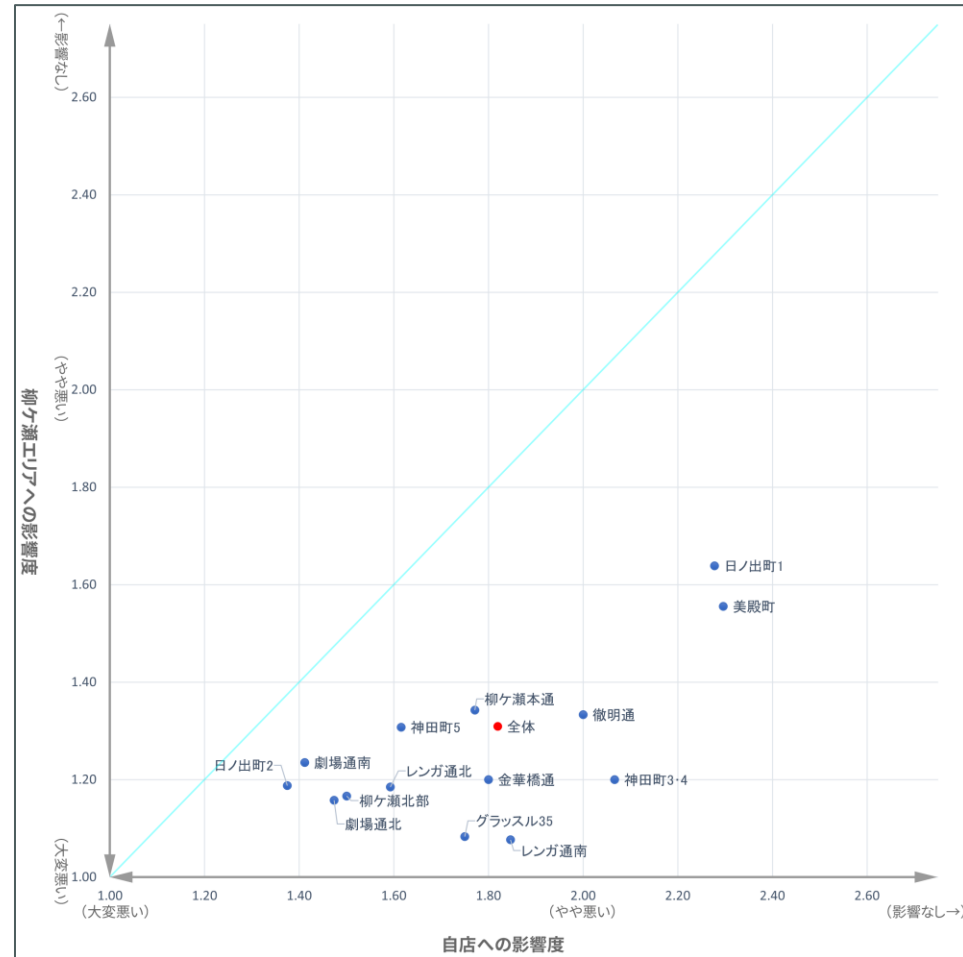
## (分析手順)

- ①所在地別、業種別、経営者の年齢別、経営年数別、経営形態別で「自店への影響度」「柳ヶ瀬エリアへの影響度」をクロス集計。
- ②各カテゴリの影響度を得点化。
- ③横軸「自店への影響度」、縦軸「柳ヶ瀬エリアへの影響度」として散布図を作成。

## (散布図の見方)

- 前提として、全体（●：平均値）の得点が、「自店への影響度：1.82」「柳ヶ瀬エリアへの影響度：1.31」であることから、**高島屋閉店による客層や客数の変化は、自店への影響・柳ヶ瀬エリアへの影響とも相当深刻であると捉えている**ことがわかる。（大変悪い影響を予想している）
- 全体（●：平均値）よりも**左下**にプロットされているカテゴリは、相対的に「自店への影響度」「柳ヶ瀬エリアへの影響度」とも**深刻**に捉えている。
- 全体（●：平均値）よりも**右上**にプロットされているカテゴリは、相対的に「自店への影響度」「柳ヶ瀬エリアへの影響度」とも、**やや楽観的**に捉えている。

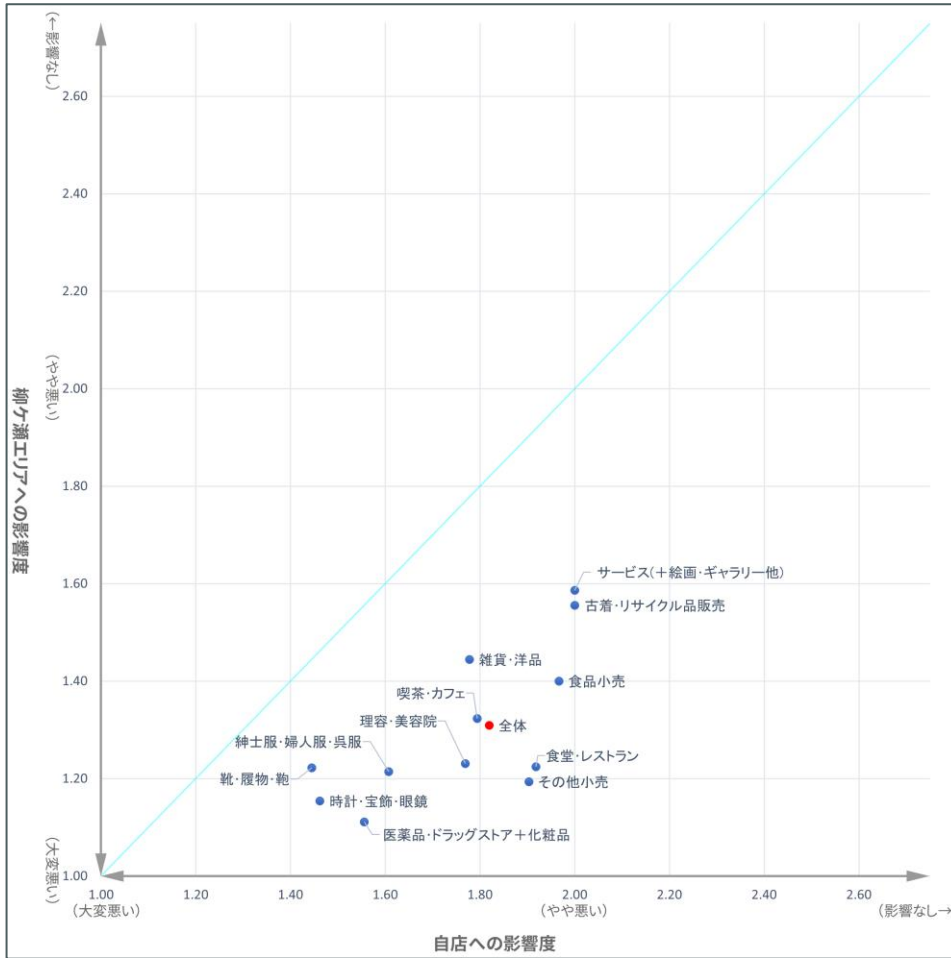
## 所在地別



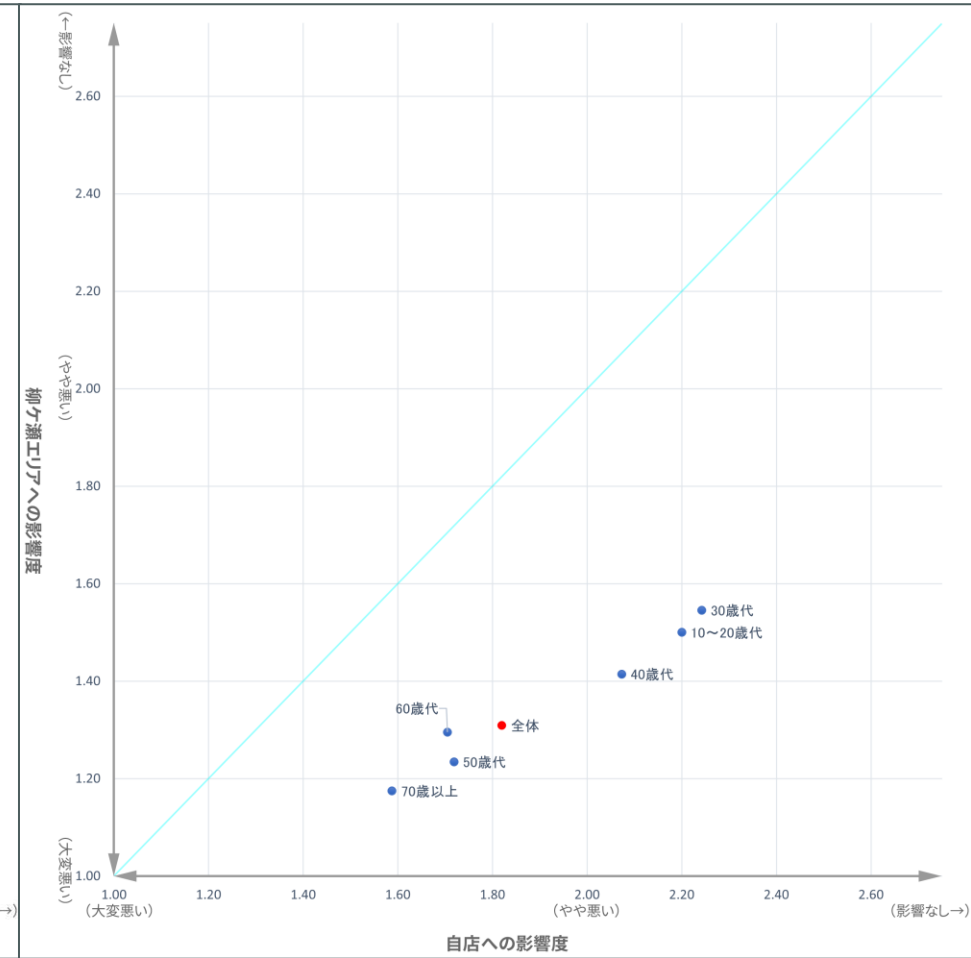
# Ⅲ. 客層や客数が変化することの影響度



業種別



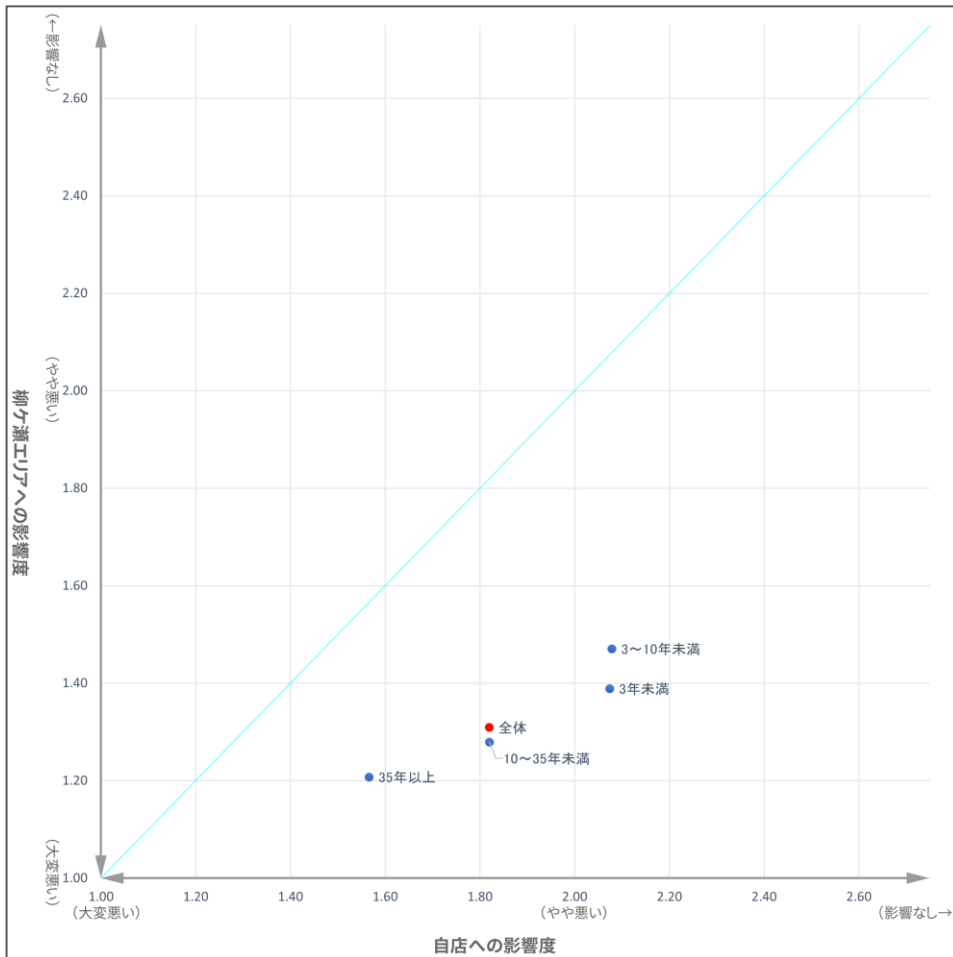
経営者の年齢別



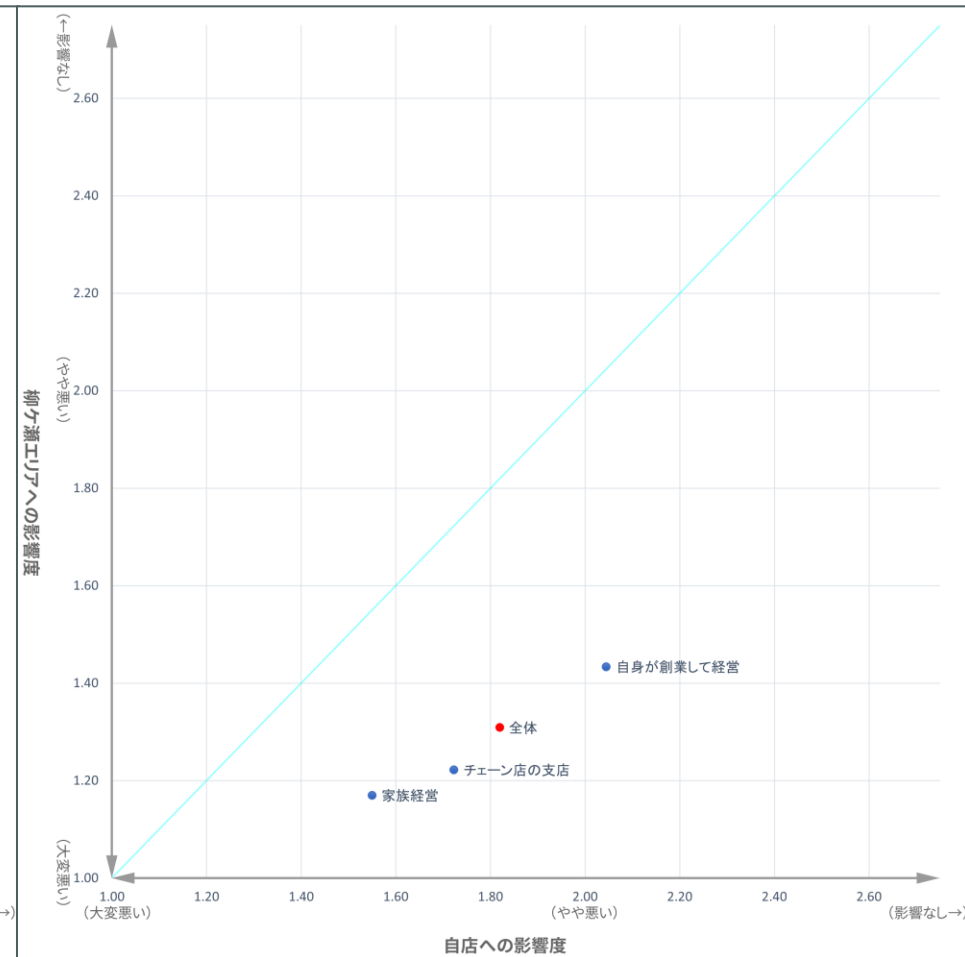
# Ⅲ. 客層や客数が変化することの影響度



現在の場所での経営年数別



経営形態別







# IV. 駐車料金サービスがなくなることの影響度

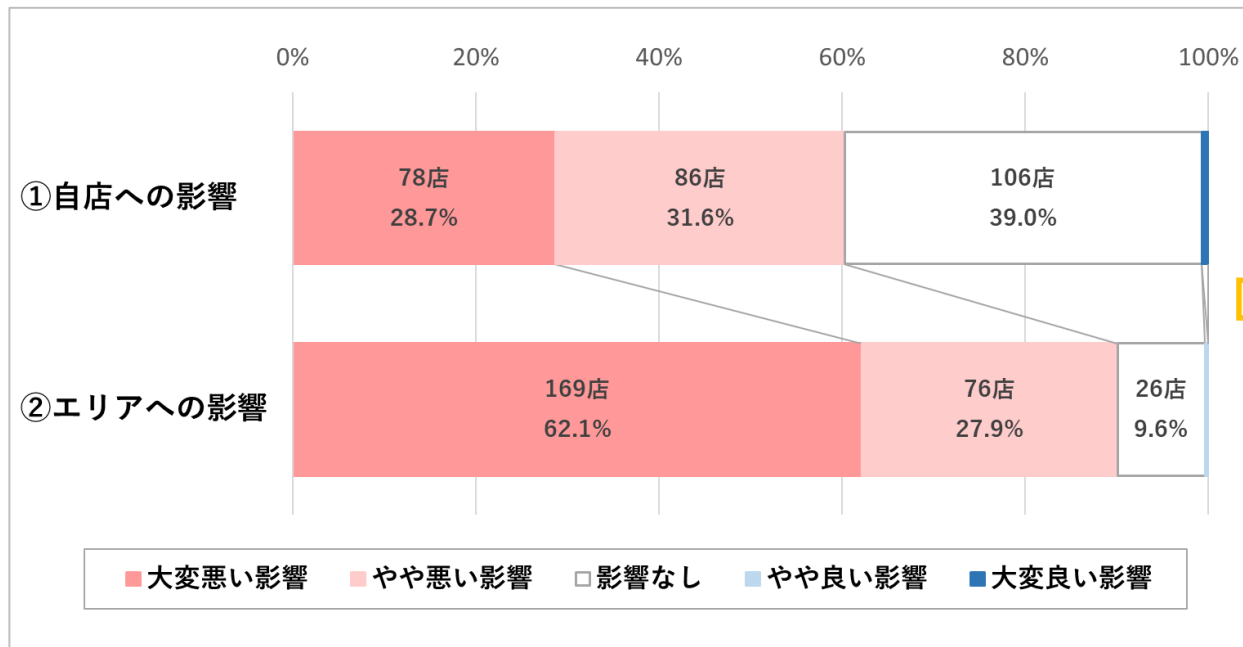
## 1 自店への影響度

➡ 約6割の店舗が「悪い影響」、一方「影響なし」も4割

## 2 柳ヶ瀬エリアへの影響度

➡ 約9割の店舗が「悪い影響」（大変悪い+やや悪い）

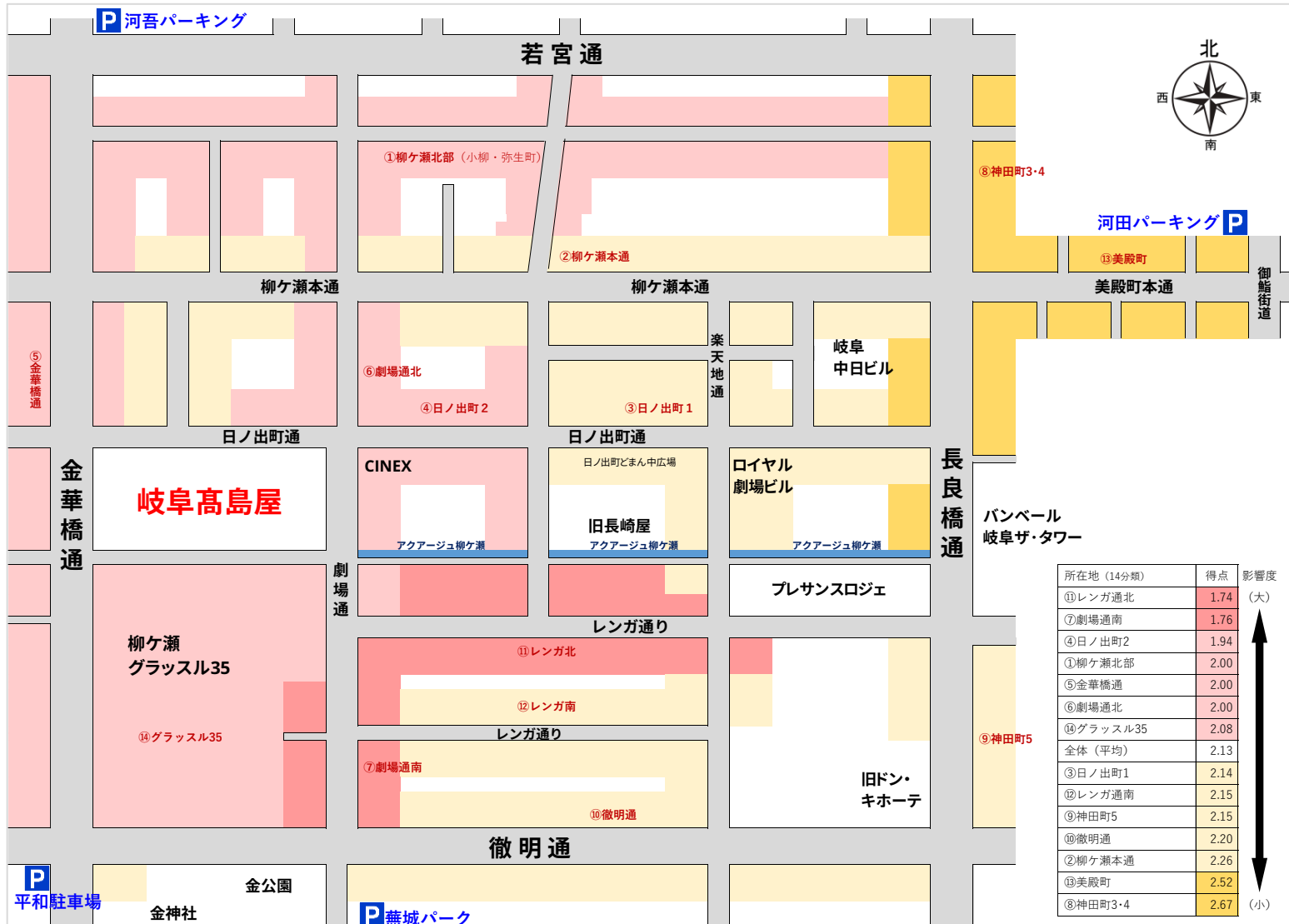
高島屋閉店により「駐車料金サービスがなくなること」の影響度(n=272)



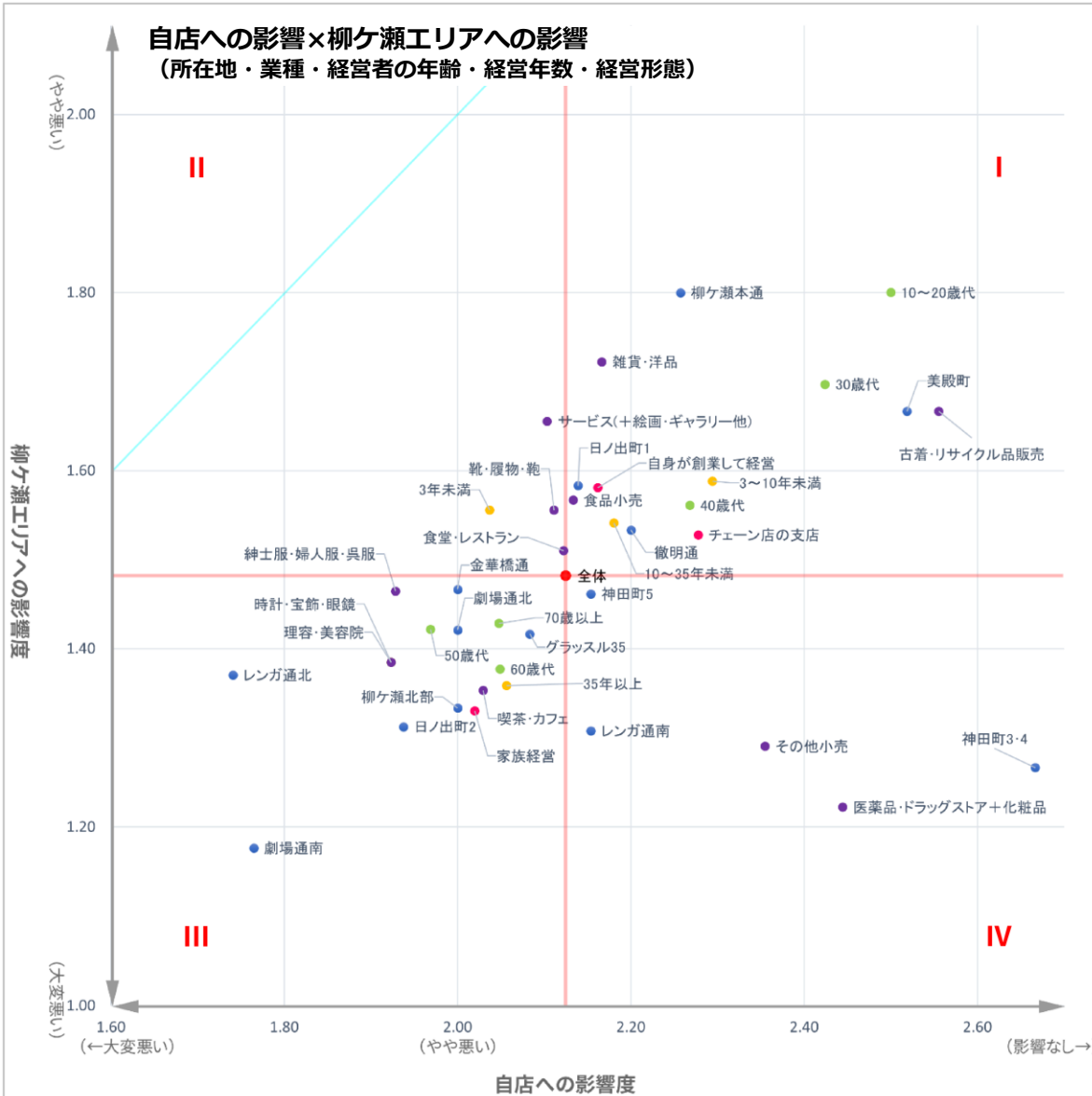
➡ 自店舗への影響よりも、柳ヶ瀬エリアへの影響が深刻と予想

# IV. 駐車料金サービスがなくなることの影響度

## 問2 ① 駐車料金サービスがなくなることの自店への影響度（所在地別）



# IV. 駐車料金サービスがなくなることの影響度



●第I象限:

自店への影響も、柳ヶ瀬エリアへの影響も（平均に比べて）楽観視

- 所在地: 美殿町、柳ヶ瀬本通など
- 業種: 古着・リサイクル品販売、雑貨・洋品など
- 経営者の年齢: 10~20歳代、30歳代、40歳代
- 経営年数: 3~10年未満
- 経営形態: 自身が創業して経営、チェーン店の支店

●第II象限:

柳ヶ瀬エリアへの影響は（やや）楽観視、自店への影響は深刻

- 業種: サービス（+絵画・ギャラリー他）
- 経営年数: 3年未満
- 所在地、● 経営者の年齢、● 経営形態: -

●第III象限:

自店への影響も、柳ヶ瀬エリアへの影響も（より）深刻

- 所在地: 劇場通南、レンガ通北、日ノ出町2、柳ヶ瀬北部、劇場通北
- 業種: 時計・宝飾・眼鏡、紳士服・婦人服・呉服、理容・美容院、喫茶・カフェなど
- 経営者の年齢: 50歳代、60歳代、70歳以上
- 経営年数: 35年以上
- 経営形態: 家族経営

●第IV象限:

自店への影響は（平均に比べて）楽観視、柳ヶ瀬エリアへの影響は深刻

- 所在地: 神田町3・4、レンガ通南
- 業種: 医薬品・ドラッグストア+化粧品、その他小売
- 経営者の年齢、● 経営年数、● 経営形態: -

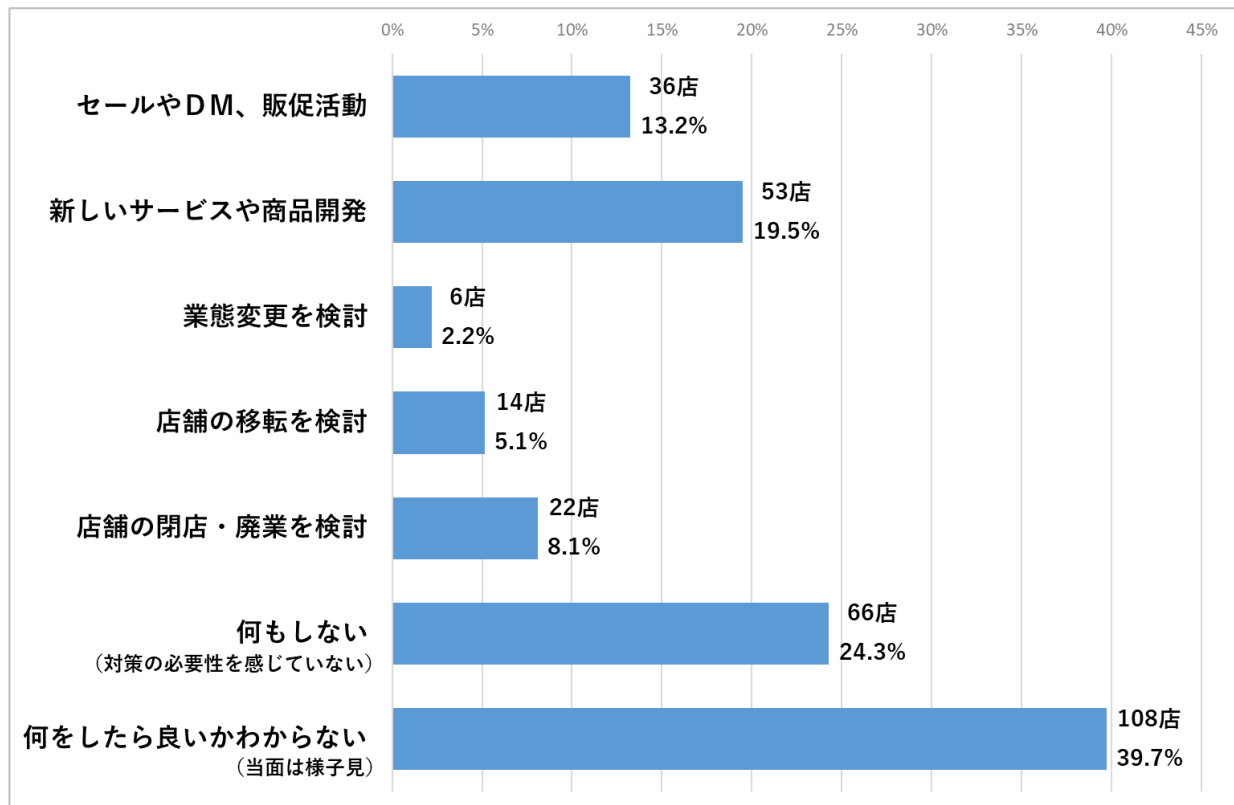
※本調査でいう「楽観視」とはあくまでも、全体（平均）を基準とした相対的なものであり、絶対値としては、大部分の店舗が「大変悪い影響がある」「やや悪い影響がある」と回答していることに留意する必要がある。

# V. 高島屋の閉店を受けて検討している対策

➡ 「何をしたら良いかわからない（当面は様子見）」 108店（40%）

「何もしない（対策の必要性を感じていない）」 66店（24%）

## 高島屋閉店を受けて検討している対策 (n=272・MA)



%は、母数272店に対する割合

# V. 高島屋の閉店を受けて検討している対策

## 業種別「検討している対策」

	1	2	3	4	5	6	7	回答合計	母数 (n)
	販促活動やDM	新しいサービス開発	業態変更を検討	店舗の移転を検討	店舗の閉店を検討	(何もしない) (必要ない)	何か解らない良		
① 喫茶・カフェ	4 11.8%	8 23.5%	1 2.9%	2 5.9%	2 5.9%	8 23.5%	11 32.4%	36 106%	34 100%
② 食堂・レストラン	2 4.1%	11 22.4%	0 0.0%	2 4.1%	3 6.1%	15 30.6%	22 44.9%	55 112%	49 100%
③ 食品小売	2 6.7%	8 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	5 16.7%	16 53.3%	32 107%	30 100%
④ 紳士服・婦人服・呉服	6 21.4%	2 7.1%	0 0.0%	3 10.7%	6 21.4%	5 17.9%	10 35.7%	32 114%	28 100%
⑤ 雑貨・洋品	4 22.2%	5 27.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	5 27.8%	4 22.2%	20 111%	18 100%
⑥ 靴・履物・鞆	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	10 111%	9 100%
⑦ 時計・宝飾・眼鏡	4 30.8%	3 23.1%	1 7.7%	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	4 30.8%	16 123%	13 100%
⑧ 古着・リサイクル品販売	2 22.2%	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%	2 22.2%	12 133%	9 100%
⑨ その他小売	5 10.9%	2 4.3%	1 2.2%	2 4.3%	4 8.7%	10 21.7%	25 54.3%	49 107%	46 100%
⑩ 理容・美容院	2 15.4%	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	4 30.8%	6 46.2%	16 123%	13 100%
⑪ サービス	3 16.7%	6 33.3%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	8 44.4%	3 16.7%	21 117%	18 100%
⑫ その他	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	6 120%	5 100%
合計	36 13.2%	53 19.5%	6 2.2%	14 5.1%	22 8.1%	66 24.3%	108 39.7%	305 112%	272 100%

※下段の%は、各「母数(n)」に対する割合。複数回答のため、横軸の「回答合計」の数値及び%は、各「母数(100%)」を上回る。

## 経営者の年齢別「検討している対策」

	1	2	3	4	5	6	7	回答合計	母数 (n)
	販促活動やDM	新しいサービス開発	業態変更を検討	店舗の移転を検討	店舗の閉店を検討	(何もしない) (必要ない)	何か解らない良		
1 10~20歳代	2 20.0%	3 30.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	4 40.0%	1 10.0%	13 130%	10 100%
2 30歳代	10 30.3%	6 18.2%	0 0.0%	2 6.1%	1 3.0%	8 24.2%	12 36.4%	39 118%	33 100%
3 40歳代	6 14.6%	13 31.7%	0 0.0%	3 7.3%	2 4.9%	14 34.1%	12 29.3%	50 122%	41 100%
4 50歳代	6 9.4%	19 29.7%	1 1.6%	3 4.7%	4 6.3%	13 20.3%	24 37.5%	70 109%	64 100%
5 60歳代	6 9.8%	7 11.5%	3 4.9%	3 4.9%	5 8.2%	13 21.3%	26 42.6%	63 103%	61 100%
6 70歳以上	6 9.5%	5 7.9%	1 1.6%	1 1.6%	10 15.9%	14 22.2%	33 52.4%	70 111%	63 100%
合計	36 13.2%	53 19.5%	6 2.2%	14 5.1%	22 8.1%	66 24.3%	108 39.7%	305 112%	272 100%

※下段の%は、各「母数(n)」に対する割合。複数回答のため、横軸の「回答合計」の数値及び%は、各「母数(100%)」を上回る。

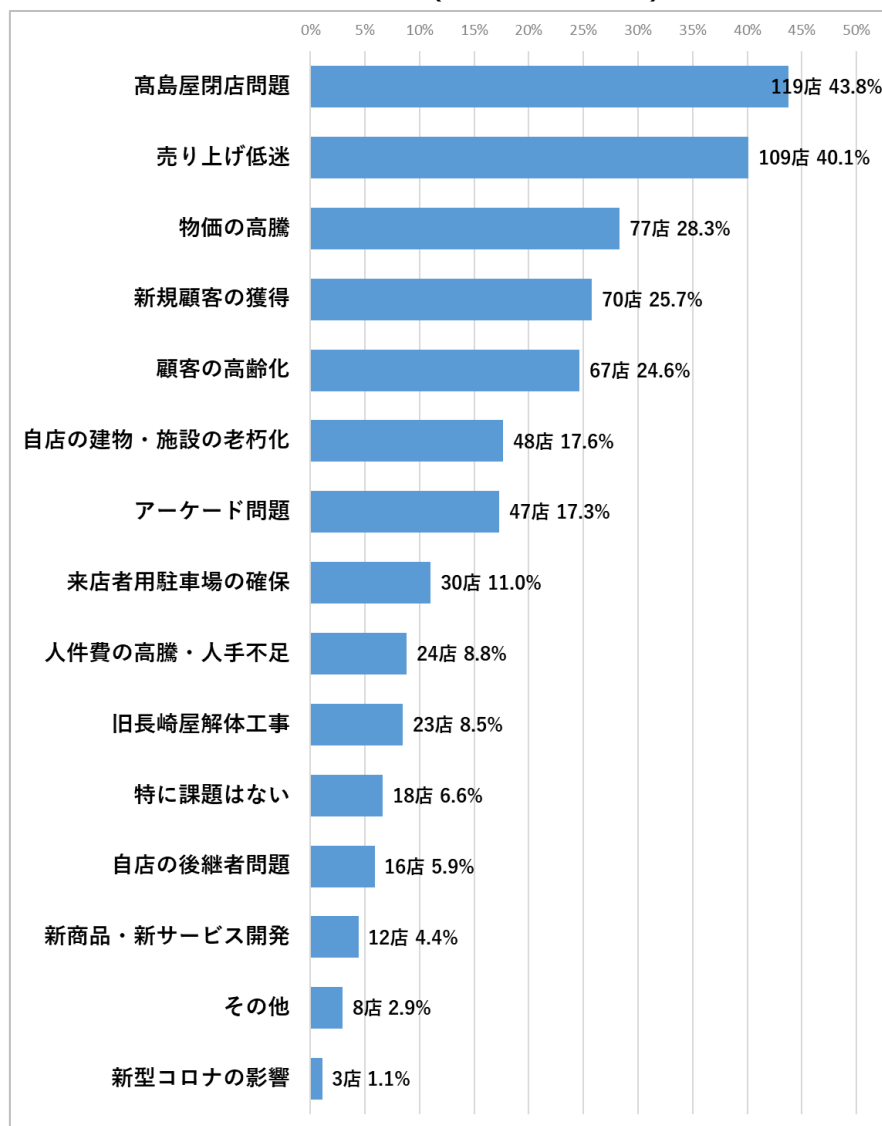
## 経営形態別「検討している対策」

	1	2	3	4	5	6	7	回答合計	母数 (n)
	販促活動やDM	新しいサービス開発	業態変更を検討	店舗の移転を検討	店舗の閉店を検討	(何もしない) (必要ない)	何か解らない良		
1 自身が創業して経営	17 12.5%	26 19.1%	0 0.0%	5 3.7%	10 7.4%	47 34.6%	46 33.8%	151 111%	136 100%
2 家族経営	11 11.0%	17 17.0%	3 3.0%	5 5.0%	11 11.0%	15 15.0%	46 46.0%	108 108%	100 100%
3 チェーン店の支店	8 22.2%	10 27.8%	3 8.3%	4 11.1%	1 2.8%	4 11.1%	16 44.4%	46 128%	36 100%
合計	36 13.2%	53 19.5%	6 2.2%	14 5.1%	22 8.1%	66 24.3%	108 39.7%	305 112%	272 100%

※下段の%は、各「母数(n)」に対する割合。複数回答のため、横軸の「回答合計」の数値及び%は、各「母数(100%)」を上回る。

# VI. 現在の経営課題や心配事

現在の経営課題や心配事 (n=272・MA3)



**1位「高島屋閉店問題」**

**2、3、4、(5)位は、**  
「一般的な経営課題」

**5、6、7、8位に、**  
柳ヶ瀬商店街の課題ともいえる  
「顧客の高齢化」  
「自店の建物・設備の老朽化」  
「アーケード問題（老朽化など）」  
「来店者用駐車場の確保」

※%は、母数272店に対する割合。  
※複数回答（3つまで）  
※総回答数は671件（平均2.8個の回答）

# VI. 現在の経営課題や心配事 (上位3件)



## 所在地別

	1位	2位	3位
① 柳ヶ瀬北部 (n=12)	アーケード問題(6店、50%)	顧客の高齢化(5店、42%)	売り上げ低迷(4店、33%) 物価の高騰(4店、33%)
② 柳ヶ瀬本通 (n=35)	高島屋閉店問題(18店、51%)	売り上げ低迷(12店、34%) 新規顧客の獲得(12店、34%)	
③ 日ノ出町1 (n=36)	新規顧客の獲得(10店、28%) アーケード問題(10店、28%)		高島屋閉店問題(9店、25%) 自店の建物・施設の老朽化(9店、25%) 売り上げ低迷(9店、25%) 顧客の高齢化(9店、25%)
④ 日ノ出町2 (n=16)	高島屋閉店問題(10店、63%)	売り上げ低迷(5店、31%) 物価の高騰(5店、31%)	
⑤ 金筆橋通 (n=15)	高島屋閉店問題(8店、53%)	売り上げ低迷(6店、40%) 物価の高騰(6店、40%)	
⑥ 劇場通北 (n=19)	高島屋閉店問題(9店、47%) 売り上げ低迷(9店、47%)		来店者用駐車場の確保(5店、26%) 新規顧客の獲得(5店、26%)
⑦ 劇場通南 (n=17)	売り上げ低迷(10店、59%)	高島屋閉店問題(9店、53%)	顧客の高齢化(7店、41%)
⑧ 神田町3・4 (n=15)	売り上げ低迷(8店、53%)	自店の建物・施設の老朽化(4店、27%) 物価の高騰(4店、27%) 顧客の高齢化(4店、27%)	
⑨ 神田町5 (n=13)	売り上げ低迷(6店、46%) 物価の高騰(6店、46%)		高島屋閉店問題(4店、31%) 顧客の高齢化(4店、31%)
⑩ 徹明通 (n=15)	高島屋閉店問題(7店、47%) 売り上げ低迷(7店、47%)		物価の高騰(6店、40%)
⑪ レンガ通北 (n=27)	高島屋閉店問題(16店、59%)	売り上げ低迷(13店、48%)	物価の高騰(8店、30%)
⑫ レンガ通南 (n=13)	売り上げ低迷(8店、62%)	新規顧客の獲得(7店、54%)	高島屋閉店問題(6店、46%)
⑬ 美殿町 (n=27)	売り上げ低迷(9店、33%)	自店の建物・施設の老朽化(8店、30%) 物価の高騰(8店、30%) 顧客の高齢化(8店、30%)	
⑭ グラッスル35 (n=12)	高島屋閉店問題(10店、83%)	新規顧客の獲得(6店、50%)	売り上げ低迷(3店、25%) 物価の高騰(3店、25%) 来店者用駐車場の確保(3店、25%)
合計[全体] (n=272)	高島屋閉店問題(119店、44%)	売り上げ低迷(109店、40%)	物価の高騰(77店、28%)

## 業種別

	1位	2位	3位
① 喫茶・カフェ (n=34)	高島屋閉店問題(17店、50%)	物価の高騰(15店、44%)	売り上げ低迷(11店、32%)
② 食堂・レストラン (n=49)	物価の高騰(28店、57%)	売り上げ低迷(17店、35%)	高島屋閉店問題(14店、29%)
③ 食品小売 (n=30)	売り上げ低迷(15店、50%)	物価の高騰(13店、44%)	高島屋閉店問題(10店、33%)
④ 紳士服・婦人服・呉服 (n=28)	売り上げ低迷(18店、64%)	新規顧客の獲得(14店、50%)	高島屋閉店問題(11店、39%)
⑤ 雑貨・洋品 (n=18)	高島屋閉店問題(13店、72%)	売り上げ低迷(8店、44%)	新規顧客の獲得(6店、33%)
⑥ 靴・履物・鞆 (n=9)	高島屋閉店問題(4店、44%) 売り上げ低迷(4店、44%) 顧客の高齢化(4店、44%)		
⑦ 時計・宝飾・眼鏡 (n=13)	高島屋閉店問題(8店、62%)	売り上げ低迷(7店、54%) 顧客の高齢化(7店、54%)	
⑧ 古着・リサイクル品販売 (n=9)	売り上げ低迷(6店、67%)	新規顧客の獲得(4店、44%)	来店者用駐車場の確保(2店、22%) 旧長崎屋解体工事(2店、22%) アーケード問題(2店、22%)
⑨ その他小売B (n=46)	高島屋閉店問題(25店、54%)	売り上げ低迷(15店、33%)	新規顧客の獲得(14店、30%)
⑩ 理容・美容院 (n=13)	顧客の高齢化(8店、62%)	高島屋閉店問題(4店、31%) 売り上げ低迷(4店、31%)	
⑪ サービス (n=18)	高島屋閉店問題(9店、50%)	新規顧客の獲得(5店、28%)	自店の建物・施設の老朽化(4店、22%) アーケード問題(4店、22%) 特に課題はない(4店、22%)
⑫ その他 (n=5)	高島屋閉店問題(3店、60%)	顧客の高齢化(2店、40%)	自店の建物・施設の老朽化(1店、20%) 自店の後継者問題(1店、20%) 売り上げ低迷(1店、20%) 物価の高騰(1店、20%) 新規顧客の獲得(1店、20%) アーケード問題(1店、20%) 特に課題はない(1店、20%)
合計[全体] (n=272)	高島屋閉店問題(119店、44%)	売り上げ低迷(109店、40%)	物価の高騰(77店、28%)



# VI. 現在の経営課題や心配事 (上位3件)



## 経営者の年齢別

	1位	2位	3位
1 10～20歳代 (n=10)	新規顧客の獲得(4店、40%)	高島屋閉店問題(2店、20%) 人件費の高騰・人手不足(2店、20%) 来店者用駐車場の確保(2店、20%) アーケード問題(2店、20%) 特に課題はない(2店、20%)	
2 30歳代 (n=33)	高島屋閉店問題(11店、33%) 新規顧客の獲得(11店、33%)	物価の高騰(9店、27%)	
3 40歳代 (n=41)	高島屋閉店問題(15店、37%) 売り上げ低迷(15店、37%)		新規顧客の獲得(11店、27%) アーケード問題(11店、27%)
4 50歳代 (n=64)	高島屋閉店問題(29店、45%)	売り上げ低迷(26店、41%)	物価の高騰(19店、30%) 新規顧客の獲得(19店、30%)
5 60歳代 (n=61)	高島屋閉店問題(32店、52%)	売り上げ低迷(28店、46%)	物価の高騰(22店、36%)
6 70歳以上 (n=63)	売り上げ低迷(36店、57%)	高島屋閉店問題(30店、48%)	顧客の高齢化(28店、44%)
合計[全体] (n=272)	高島屋閉店問題(119店、44%)	売り上げ低迷(109店、40%)	物価の高騰(77店、28%)

## 経営年数別

	1位	2位	3位
1 3年未満 (n=54)	新規顧客の獲得(24店、44%)	高島屋閉店問題(22店、41%)	来店者用駐車場の確保(17店、31%)
2 3～10年未満 (n=51)	高島屋閉店問題(20店、39%) 売り上げ低迷(20店、39%)		物価の高騰(18店、35%)
3 10～35年未満 (n=61)	高島屋閉店問題(22店、36%)	売り上げ低迷(21店、34%) 物価の高騰(21店、34%)	
4 35年以上 (n=106)	高島屋閉店問題(55店、52%)	売り上げ低迷(54店、51%)	顧客の高齢化(42店、40%)
合計[全体] (n=272)	高島屋閉店問題(119店、44%)	売り上げ低迷(109店、40%)	物価の高騰(77店、28%)

## 経営形態別

	1位	2位	3位
1 自身が創業して経営 (n=136)	高島屋閉店問題(48店、35%)	売り上げ低迷(42店、31%)	物価の高騰(39店、29%) 新規顧客の獲得(39店、29%)
2 家族経営 (n=100)	高島屋閉店問題(53店、53%)	売り上げ低迷(52店、52%)	顧客の高齢化(36店、36%)
3 チェーン店の支店 (n=36)	高島屋閉店問題(18店、30%)	売り上げ低迷(15店、42%)	新規顧客の獲得(13店、36%)
合計[全体] (n=272)	高島屋閉店問題(119店、44%)	売り上げ低迷(109店、40%)	物価の高騰(77店、28%)